

平成28年第1回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに「しろいホワイトフェスティバル2016」について申し上げます。

本市の名称になぞらえて、3月14日のホワイトデーを「しろいの日」としたことを記念して、3月13日の日曜日に白井駅前広場において「しろいホワイトフェスティバル2016」を開催いたします。

このイベントは、国が掲げる「まち・ひと・しごと創生」の一環として策定した「白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けられた「PR事業」の1つとして開催するもので、「白」をテーマに、浅草の「雪まつり」等で実績がある山形の団体と連携し、東北から運んだ雪を使ったスノーキャンドルで白井駅前の「梨の泉」を飾る催しや、子どもから大人まで楽しめるステージ、キッチンカーによるおいしい食べ物、白井の特産品の展示・販売などの催しにより、来場いただいたみなさんと「しろいの日」を祝う内容を予定しています。

「みんなでつくる しろいの日」をキャッチコピーとし、「しろいの日」をきっかけに、人と人、地域の交流や助け合いにより、きずなを深めていくことや、駅前などの中心拠点や地域の中で人が集うことで、にぎわいを創出し、まちを活性化させ、ひいては白井市の知名度の向上、市民の郷土への誇りや愛着を醸成してまいりたいと考えております。

次に「モンゴル国でのしろい梨のテスト販売」について申し上げます。

「しろい梨」及び「白井市」のブランド力の向上や販路拡大を図るため、白井市梨業組合が西印旛農業協同組合及び市と連携のもと、昨年9月にモンゴル国ウランバートルで開催された「ちばぎん商談会」に参加することを、昨年第3回定例会でご報告いたしました。商談会に参加した成果として、モンゴル国内に駐留する事業者の協力が得られたことから、昨年12月から今年の1月まで、モンゴル国ウランバートルで試食及びテスト販売が行われましたのでご報告いたします。

テスト販売等にあたり、12月に新高を10kg箱で10箱、計100kgを現地に送り、ウランバートル市内のスーパー3店舗で、12月17日から本年1月17日まで富裕層を対象としたテスト販売と、この期間中に3日間の試食が行われました。

テスト販売の状況につきましては、販売用の70kgのうち46kgが購入されたとのことです。

梨の値段は現地価格で1kgあたり38,900トゥグリク、日本円に換算して約2,500円、1個あたりで約1,250円でした。

モンゴル国への日本産の梨の輸出は白井市が初めてで、現地では、価格は高いが、みずみずしくて美味しいという意見が多かったと報告いただいております。

「しろいの梨」を海外でも売っているという誇りを持つことで、品質の向上や、若手の就農につなげていきたいと考えており、今後も引き続き海外での販売を行い、PRを実施しながら、市場や消費者に対するブランド力の向上に努めてまいります。

次に、「災害時の物資供給及び店舗営業の継続又は早期再開に関する協定書の締結」について申し上げます。

本年1月27日に、白井市と株式会社セブンーイレブン・ジャパンとの「災害時の物資供給及び店舗営業の継続又は早期再開に関する協定」を締結いたしました。

協定の内容は、災害時または災害が発生する恐れがある場合において、市からの要請に基づき、株式会社セブンーイレブン・ジャパンまたはフランチャイズ加盟店より食料品や日用品等の物資供給を受けることで市民生活の早期安定を図るものです。

また、各店舗では来店者等に災害情報等の提供にご協力いただくものとし、白井市は、市内9店舗の営業継続や早期営業再開に関し物資運搬等の同社車両の通行ができるよう支援するものです。

市では、災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、防災関係団体の他、民間企業・事業所のご理解とご支援をいただき、避難場所や医療・

土木・給水・物資など、災害時の様々な応援協定を締結し、各企業のご協力をいただいているところです。

この度の協定締結により、官公庁19団体、民間35事業所との災害関連の協定を締結することができました。

今後も、行政・防災関係団体・民間事業者及び市民団体等と連携・協力を図りながら、「災害に強いまちづくり」を進めてまいります。

最後に、「印西クリーンセンター次期中間処理施設の整備事業」について申し上げます。

印西地区環境整備事業組合では、現印西クリーンセンターの老朽化に伴う、次期中間処理施設整備事業について印西市吉田地区を建設候補地として推進しております。

同組合では、次期中間処理施設の基本計画等の策定を担当する「施設整備基本計画検討委員会」と建設候補地周辺の地域特性を考慮しながら、抽出した地域振興策の基本構想を検討・評価することを担当する「地域振興策検討委員会」を設置し検討を進め、この度、「施設整備基本計画（案）」と「地域振興策（案）」がまとまったことから、本年2月1日から本日15日までパブリックコメントが実施されております。

それぞれの案につきましては、印西クリーンセンターや同組合ホームページで確認できるほか、白井市役所及び各センターでも閲覧できます。

また、「施設整備基本計画（案）」と「地域振興策（案）」に関する検討結果の説明会が平成28年3月6日（日）午後1時から印西クリーンセンターの3階大会議室で行われます。

なお、次期中間処理施設が完成するまでの間、老朽化した現施設を安定稼働させるため、施設の機能回復と省エネルギー化を図る基幹的設備改良工事いわゆる長寿命化につきましては、一般競争入札を経て昨年10月にJFEエンジニアリング株式会社と工事請負契約が締結されております。

工期は平成27年10月16日から平成30年3月31日までで、平成28年度から本格的な工事に入る予定となっています。